

中国大陸及び台湾におけるほめ行動の比較 —目上へのほめ行動を中心に—

楊 一林

人間社会環境研究科 博士前期課程 2年

1. 派遣期間・訪問先

2012年6月29日から2012年7月19日まで、約20日間にかけて、中国の上海市と広州市、台湾の台北市と台南市にて、フィールド調査を実施した。調査の目的は、中国大陸及び台湾社会における目上へのほめ行動の共通点と相違点を明らかにすることである。

2. ほめ¹⁾という言語行動

ほめは言葉のプレゼント²⁾ともいわれるように、相手に関心がなければできない行動であり、対人関係に直接関わり、円滑な人間関係を構築、維持、発展させていくため必要な言語行動である。コミュニケーションの目標が潤滑な社会関係を作り出すこと、又は維持であるとすれば、自分がいかに相手の存在を評価しているか、相手の考えや人格を理解しているか等のことを示す必要がある。

ところで、ほめは文化によって、その対象、表現形式、や返答などに違いがあり、異文化間のコミュニケーションにおいて誤解が生じる恐れがある。そのため、ほめ行動に関する対照研究は多くなされていた。しかし、同一中国語文化圏内においては、地域差、世代差、階層差に着目し、その相違及び背景に関する研究はほとんどない。文化資源としてのほめ行動は歴史、政治や経済の影響を受け、更に外国・外来文化の侵入により、地域差及び年代差が生じてくる可能性がある。今回の調査は、その相違点を検証しようとする試みである。

本稿で取り上げたほめ³⁾とは、相手との円滑な関係を保ちながら、相手への理解や賛同を表現することによって、相手を心地よくさせ、直接的あるいは間接的に、肯定的な評価を伝える言語行動であると定義する。現代中国社会においても、ほめは円滑な人間関係の構築・維持・改善などに果たす役割は大きく、さま

ざまな場面で用いられている。

楊(2012)では、中国の6つの都市在住の大学生を対象者とし、中国語母語話者の目上へのほめ行動について、調査を実施した。調査の結果は、相手が目上であっても、ほめ行動の使用率は高い傾向があった。また、ほめ行動を、「親疎・利害関係」の観点から分析した結果、違いが認められたが、このように現代中国社会において、ほめ文化は変容しつつあり、その表現形式や表現方法も多様化していると指摘した。

ところが、同一中国語文化圏内に属し、中国大陸と台湾はよく似た言語、文化、生活習慣があり、また近年中国へ進出する台湾企業が急増し、経済面でも深い繋がりが認められる。しかし、両社会の歴史や政治・経済を考慮すると、違いが多く、言語行動の差異も予想できる。本稿では、目上をほめるという行動に焦点を当て、中国大陸と台湾社会における目上へのほめ行動の共通点と相違点を明らかにする。

3. 調査の内容

中国人大学生と台湾人大学生を調査対象者に、目上の教員へのほめ行動を調査するため、記述式アンケート調査を実施した。〈表1〉は、調査対象者に関する具体的な情報（調査の地域、大学、時期及び調査者数）を表したものである。

調査対象者は、在学中の20代前後の大学生である。

〈表1〉 調査対象者の情報

| 調査地 | 大学 | 時期 | 人数(男/女) |
|-----|--------|-------------|-------------|
| 上海市 | 華東師範大学 | 2012/6/29 ~ | 46 (29/17) |
| 広州市 | 華南師範大学 | | 44 (20/24) |
| 台北市 | 台湾師範大学 | 2012/7/19 | 41 (16/25) |
| 台南市 | 成功大学 | | 46 (19/27) |
| 計 | | | 167 (74/83) |

20代の大学生を調査対象者にした理由は、目上へのほめといった調査場面に関係がある。日常生活の中で接触場面が多い目上の人として、大学の教員を共通に想定しやすいと考えられる。また、すべての調査対象者は、外国語専門の学生を分析対象者から除外したため、他の言語の影響の可能性が低い。

調査地域は、中国の中部と南部の経済・金融中心地である上海市と広州市、台湾の北部と南部の政治・文化中心地である台北市と台南市の4つの都市部である。これらの地域は、中国大陸と台湾の中心部であるため、全国から学生が集まりやすいと考えられる。

調査の内容⁴⁾について、大学生が大学教員に対して「ほめ」を意図とした場合の発話を記述させ、その表現方法や表現形式を分析する。〈表2〉と〈表3〉は、調査場面の設定において、人間関係及びほめの対象を示したものである。なお、具体的な調査票を文末の別紙に掲げている。

調査対象者が想定する会話の相手―「目上の人」に



〈写真1〉 華東師範大学（上海市）



〈写真2〉 国立台湾師範大学（台北市）

〈表2〉 人間関係による目上のタイプ

| 目上のタイプ | 例 |
|--------|-------------|
| A先生 | 親しく、利害のある |
| B先生 | 親しく、利害のない |
| C先生 | 親しくなく、利害のある |
| D先生 | 親しくなく、利害のない |

〈表3〉 ほめの対象及び例

| ほめの対象 | 例 |
|-------|---------|
| 能力 | 授業 |
| 持ち物 | バック |
| 外見 | ヘアスタイル |
| 行動 | 外国語で道案内 |

ついて、具体的に、調査対象者と同性で、40代自分の大学の教員である。また、親疎・利害関係により、大学教員を「親しくて利害のあるA先生」・「親しくて利害のないB先生」・「親しくなくて利害のあるC先生」・「親しくなくて利害のないD先生」の4タイプに分け、それぞれの特徴を比較する。なお、本調査で使われる「利害」という表現は、成績評価の有無のことである。更に、これらの想定を、以下のように調査可能な形にかえた。

- A先生 → 週2、3回会い、気楽に言葉を交わすことができる。（現在授業を受けている）
- B先生 → 気楽に言葉を交わせられ、過去に授業を受けたことがある。（現在は授業を受けていない）
- C先生 → 週1回会えるが、気楽に言葉を交わせない。（現在授業を受けている）
- D先生 → 気楽に言葉を交わせないが、過去に授業を受けたことがある。（現在は授業を受けていない）

「ほめ」の対象について、大野（2009）、金（2012）に基づき、「能力」・「持ち物」・「外見」・「行動」を設定した。各タイプの教員に対し、4種の対象において、自分の気持ちを伝えたい場合、どのように言うか、それぞれの場面を想定しながら、実際自分の話し言葉で記述してもらった。（何も言えない、もしくは言わな

い場合があれば、「言えない」ないし「言わない」と回答してもらった。) また、これらのほめの対象を、具体的に以下のように調査可能な形に変えた。

場面一 (能力) → 先生の授業がとてもよかったことを伝えたい。

場面二 (持ち物) → 先生の持っているバックが似合っていることを伝えたい。

場面三 (外見) → 先生の新しいヘアスタイルにコメントしたい。

場面四 (行動) → 外国人に道を尋ねられた先生 (英語専門ではない) が、流暢な英語で道案内をしていた様子を目撃。その直後、先生と話す機会があり、このことについて何かコメントしたい。

4. 調査の成果

4.1. 教員タイプによるほめ表現の使用率

＜図1＞は、教員のタイプごとに、中国と台湾の調査データに見られたほめ表現の使用率をグラフで表したものである。教員A、B、C、Dに対するほめ表現の使用率は、中国ではそれぞれ87.9%、85.7%、63.8%、53.8%で、台湾では、87.9%、82.5%、51.7%、42.5%である。つまり、両地域共通し、親しい教員 (A先生とB先生) に対して、ほめ行動が頻繁に行われているが、親しくない教員 (C先生とD先生) に対しては、中国のほうが台湾よりやや高い割合でほめていることが分かった。このような結果から、台湾のほうが中国よ

り、親疎関係により目上へのほめ行動の使用に影響されるといえよう。

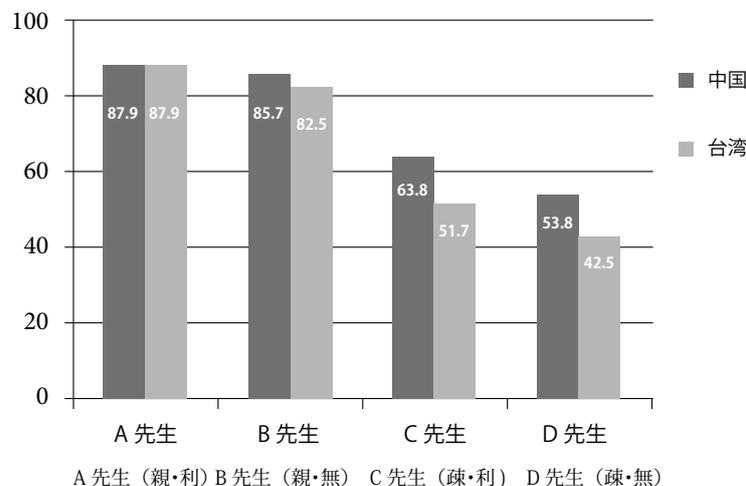
また、両地域において、親しく利害のあるA先生と利害のないB先生には差が見られないが (中2.2%、台5.4%)、親しくない利害のあるC先生と利害のないD先生の間にはやや差が見られる (中10%、台8.5%)。このような結果から、中台共通に、親しい関係であれば、利害の要素が影響されにくい、親しくない関係においては、利害の要素が考慮されていると考えられる。

4.2. ほめの表現

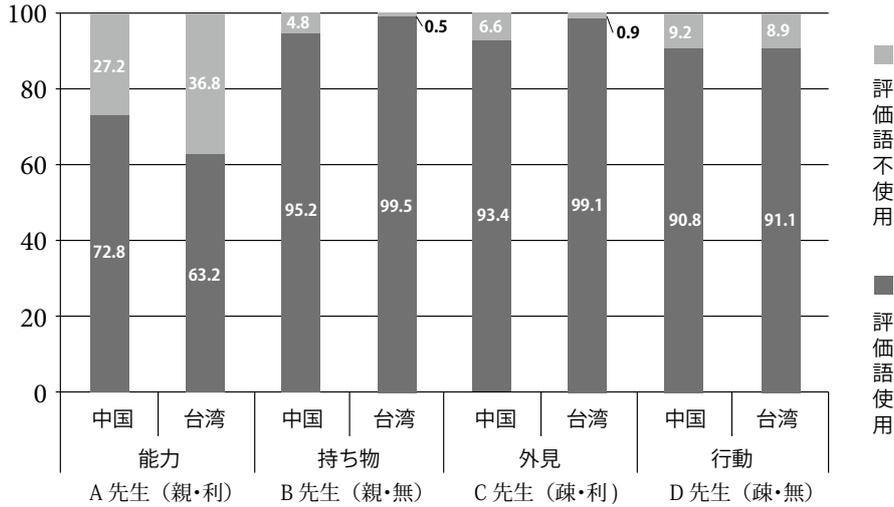
まず、「很好 (良い)、很棒 (素晴らしい)、漂亮 (素敵だ)」等の肯定的評価語を伴うほめを典型的なほめとみなしていたが、実際のデータの中で見られるほめは様々な表現上の特徴があった。肯定的評価語を用いながら、更に詳しく説明する直接のほめ表現と、肯定的評価語は使わず、ほめ手の自身の感情を表すような間接のほめ表現がある。調査データに見られるほめの表現をまとめると、「肯定的評価語使用」と「肯定的評価語不使用」の2種類に分類できる。

＜図2＞は、調査データに見られる各教員における肯定的評価語使用率を示したものである。

＜図2＞に示したように、肯定的評価語使用は、四場面を合わせると、中国352.2%、台湾352.9%で、類似した結果である。このことから、「肯定的評価語の使用」は、両方においてほめを表す重要な表現であることがわかった。しかし、「持ち物」、「外見」、「行動」の場面において、中台共通して、肯定的評価語使用率



＜図1＞ 各教員によるほめ表現の中台比較 (%)



<図2> 各場面における肯定的評価語使用の中台比較 (%)

<表4> 目上の能力へのほめ場面での意味公式とその例

| | 意味公式 | 評価語使用場面の例 |
|----|------------------|--|
| 1 | 肯定的評価表現 | 老师, 您的课 很好 。 (先生の授業、とても 良かった です。) |
| 2 | 理由 | 老师, 这节课讲的真不错, 我都能听得明白 。 (先生、この授業は本当に良かったです。 よく理解できました 。) |
| 3 | 関心を示す | 老师, 这节课上什么内容呀? 前几周的课超赞的。 (先生、 この授業はどんな内容ですか? 先週の授業は素晴らしかったです。) |
| 4 | 強調 ⁵⁾ | 老师, 这节课 超 好玩的。 (先生、この授業は すごく 面白いです。) |
| 5 | 自己利益 | 老师, 你的课很棒欸, 学到很多东西 。 (先生、あなたの授業は素晴らしいですね、 とても勉強になりました 。) |
| 6 | 感情 | 老师, 你的课很棒, 我很喜欢 。 (先生、あなたの授業は素晴らしいです。 私は大好きです 。) |
| 7 | 感謝 | 这节课好有趣又可以学到很多东西, 谢谢 老师。 (この授業は面白くてとても勉強になっています。先生、 どうもありがとうございます 。) |
| 8 | フィラー | 哇! 老师你的课真的超赞啦! (わあ 、先生、あなたの授業は本当に素晴らしいですよ!) |
| 9 | 呼びかけ表現 | 老师 , 你超强的。 (先生 、あなたがすごいですよ。) |
| 10 | 終助詞 | 老师, 你上的课很好, 我每堂课都来 喔! (先生、あなたの授業は良かったです、私は毎回来ています よ 。) |

が90%以上を示しているのに対して、「能力」の場面においては、中国72.8%、台湾63.2%であり、他の場面より肯定的評価語の使用率がやや低いことが分かった。このことから、「能力」場面において、両方とも、肯定的評価語を使わない間接のほめ表現が好ましく多用されることが読み取れる。

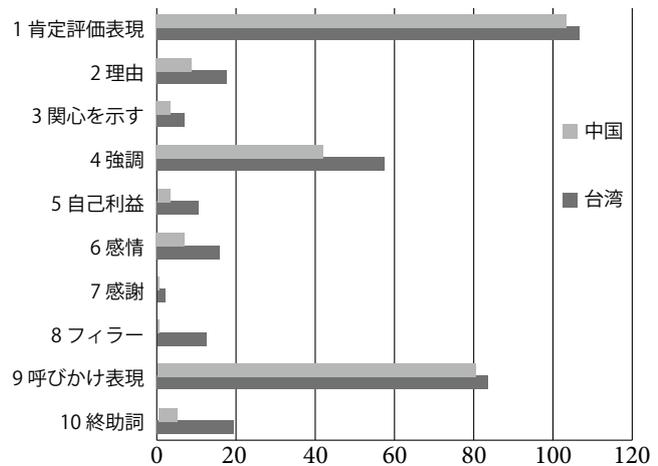
次に、ほめの表現における発話の意味情報量について検討する。発話の意味情報量が多ければ、それはほめ相手に多くの情報を与えることになる解釈することができる。たとえば、ほめの発話において、ほめという発話意図を相手に積極的に伝えるためには、意味を持つ情報量は多く発話すると考えられる。

発話の意味情報量を比べるために、単純に文字数または単語数を数えるのは適切ではない。本稿では、発話の意味情報量を分析する方法として、意味公式 (semantic formulas) を用いる。発話を意味公式を利用して記述することにより、客観的比較が可能になる。また、意味公式を用いることにより、対応する場面における中国と台湾の発話の構成の異同も知ることができる。

<表4>は、目上の能力へのほめ場面での発話量を測る意味公式とその例を示したものである。この意味公式は、尹 (2011) を参考にして作成したものである。なお、<表4>に挙げた意味公式の例は、調査者の実際に記入したアンケートの回答から抽出されたものである。場面一では、調査者対象者の大学生が教員の授業がとても良かったことを伝えたいときのほめ表現を誘導している。従って、この意味公式はほめ表現のみならず、ほめたいという気持ちの伝達にも関する内容

<表5> 目上の能力へのほめ場面における発話量の中台比較 (単位:%)

| | 意味公式 | 中国 | 台湾 |
|----|---------------|-------------|-------------|
| 1 | 肯定評価表現 | 104 | 107 |
| 2 | 理由 | 8.8 | 17.6 |
| 3 | 関心を示す | 3.5 | 7 |
| 4 | 強調 | 42.1 | 57.9 |
| 5 | 自己利益 | 3.5 | 10.5 |
| 6 | 感情 | 7 | 15.8 |
| 7 | 感謝 | 0 | 1.8 |
| 8 | フィラー | 0.2 | 12.3 |
| 9 | 呼びかけ表現 | 80.7 | 84.2 |
| 10 | 終助詞 | 5.3 | 19.3 |
| 計 | | 255.1 | 333.4 |



<図3> 目上の能力へのほめ場面における発話量の日台比較

を中心に構成されている。

<表5>と<図3>は目上の能力をほめる場面において、中国人大学生と台湾人大学生の発話量を示したものである。各項目において、中国人大学生に比べて、台湾人大学生の発話量が多いことが分かった。また、すべての項目を合わせて全体的発話量を見ても、中国人大学生(255.1%)に比べて、台湾人大学生(333.4%)の発話量が多い。次に、内容を項目別に見ると、「1肯定的評価表現」(中104%、台107%)⁶⁾と「9呼びかけ表現」(中80.7%、台84.2%)が、中台共通に、高い使用率を示している。

しかし、台湾人大学生が中国人大学生より多く発話した項目には、「2理由」(中8.8%、台17.6%)、「4強調」(中41.2%、台57.9%)、「8フィラー」(中0.2%、台12.3%)、「10終助詞」(中5.3%、台19.3%)であった。

この結果から、中国人大学生と比べて、台湾人大学生のほうが、理由、強調表現や注意喚起表現等をより多く言及する傾向があると言える。つまり、中国人大学生より、台湾人大学生のほうが意味情報を多く発話することでより積極的に自分のほめ意図を相手に伝えようとし、より積極的な言語行動を行っているであろう。

5. 今後の課題

文化資源としての言語行動は歴史、政治や経済の影響を受け、更に外国・外来文化の融合により、地域差及び年代差が生じてくると考えられる。本稿では、中

国大陸と台湾の言語行動における共通点と相違点を明らかにするため、目上へのほめ行動に注目し、アンケート調査を行った。その結果、中台共通して、親しい目上に対して、実際にほめ行動を行うことが明らかになった。しかし、全体的な使用率においては、中国人大学生のほうが台湾人大学生より、使用率がやや高いことが分かった。また、ほめの表現において、台湾人大学生のほうが、中国人大学生と比べ、意味情報を多く発話し、積極的に自分の意図を伝え、積極的な言語行動を行っていることが読み取れた。

中国大陸と台湾社会における目上へのほめ行動を比較分析するため、同じ条件の下でできるように、調査対象者を都市部在学中の大学生に限定し、目上は大学の教員に同一設定した。このように、統一された条件のデータを利用することにより、言語行動に影響を及ぼす要因を分析することができ、客観的な比較も可能であった。しかし、調査対象者の社会的属性、地域、性、世代等により、異なる特徴があるかもしれない。更に、中国社会におけるほめ行動の基礎枠組みを提供するため、言語形式のみならず、言語使用の面も談話レベルで分析する必要がある。今後、会話の中で行われるほめに関連するやり取りに注目し、条件統制した会話者の日常会話を録音、文字化したものをデータとし、継続的なやり取りを分析することにより、ほめの様々な側面における考察が必要であろう。

註

1) 本稿における「ほめ」は読みやすさを考慮し、漢字表記の「褒

- め」ではなく、ほめと表記する。
- 2) 金庚芬 (2012:2) より。
 - 3) Holmes (1988: 487)、小玉 (1996: 61)、大野 (2003: 337) に基づき、定義したものである。
 - 4) 楊 (2012) に基づいている。
 - 5) 「很 (とても)」以外の副詞等に該当する。中国語において、性質形容詞が述語になるときは、普通、程度副詞の「很」の修飾を必要とする。この「很」は形式的に必要なもので、「とても」という強調の意味は薄らいでいる。ここで、取り上げた強調の意味を持つ副詞は、例えば、「真」、「超」、「好」等である。
 - 6) 例 1、老师的课**很棒**，**很有趣**。(先生の授業が**素晴らしくて**、**面白い**です。) 例 1 のように、一つの発話には複数の肯定的評価表現を使用している場合がある。

<参考文献>

- Holmes, Janet (1988): Paying compliments: A Sex-Preferential Politeness Strategy. *Journal of Pragmatics* 12, pp. 445-465.
- 小玉安恵 (1996): 「対談インタビューにおけるほめの機能 (1)- 会話者の役割とほめの談話におけるという観点から -」『日本語学』 15(4), 明治書院, pp. 59-67.
- 金庚芬 (2012): 『日本語と韓国語の「ほめ」に関する対照研究』 ひとつじ書房.
- 大野敬代 (2003): 「人間関係からみた『ほめ』とその工夫について -- シナリオにおける『働きかけ表現』として」『早稲田大学大学院教育学研究紀要 別冊』 10(2), pp. 337-346.
- 大野敬代 (2009): 「日本語母語話者と学習者の目上への『ほめ』のあり方」『早稲田日本語研究』 18, pp. 60-71.
- 尹秀美 (2011): 「発話理解における話し手責任の日韓比較—謝罪場面での発話量及び表現形式を中心に—」『韓国語学年報』 (7), 神田外語大学韓国語学会, pp. 1-16.
- 楊一林 (2012): 「中国社会における『ほめ』文化の変容 - 文化資源学の観点から -」『金沢大学文化資源学研究』 4, 金沢大学国際文化資源学研究センター, pp. 120-126.

添付資料 I： 記述式調査票（簡体字版）

<关于语言表达方式的问卷调查>

感谢您在忙碌的学业中能抽空填写本问卷，您的协助对我的研究非常的重要。

这是一份纯学术性的问卷，主题是想了解一下大家在日常生活中对某些特定的语言表达持有怎样的印象。您填写的答案没有“对”与“错”之分，所以请根据您真实的想法作答。此外，本问卷仅供学术研究分析，绝不对外公开，并采用匿名方式填写。

首先，请写下您的年龄，性别，出生地，现在居住地及年数。

年龄：_____ 周岁 性别： 男 · 女

出生地： _____

现居住地： _____ 年数： _____

为了保持友好的师生关系，在下列场景中，您对这位 40 多岁的同性老师会采用什么样的语言表达方式。根据熟悉程度和利害关系，又具体分 A, B, C, D 四位老师：

A 老师：每个周见 2, 3 次面，经常轻松的进行交谈，并且现在正在上该老师的课。

B 老师：每个周见 2, 3 次面，经常轻松进行交流的老师，过去曾上过该老师课。（现在不上）

C 老师：每个周见 1 次面，不经常交谈，现在正在上该老师的课。

D 老师：每个周见 1 次面，不经常交谈，过去曾经上过该老师的课（现在不上）。

对上述的 4 位老师，在以下 4 种场景中，您会怎样表达自己的想法。请想象该场景并写下您的真实想法。（如果不能说或是不说的情况，请如实的写下 [不能说] 或是 [不说]）。

场景 1. 想表达老师的课很棒。

| | |
|---------|--|
| 对 A 老师： | |
| 对 B 老师： | |
| 对 C 老师： | |
| 对 D 老师： | |

场景 2. 想表达老师的拿的皮包很适合他 / 她。

| | |
|---------|--|
| 对 A 老师： | |
| 对 B 老师： | |
| 对 C 老师： | |
| 对 D 老师： | |

场景 3. 对老师的新发型的评价。

| | |
|---------|--|
| 对 A 老师： | |
| 对 B 老师： | |
| 对 C 老师： | |
| 对 D 老师： | |

场景 4. 你看到几位外国人在向老师问路，老师的专业并非英语，但是用很流利的英语为他们做了说明。对此你会怎样表达。

| | |
|---------|--|
| 对 A 老师： | |
| 对 B 老师： | |
| 对 C 老师： | |
| 对 D 老师： | |

感谢您的合作！

添付資料Ⅱ： 記述式調查票（繁体字版）

＜關於語言表達方式的問卷調查＞

您好，我是日本金澤大學人間社會環境研究科研究生楊一林，為了進行碩士論文寫作，擬調查臺灣大學生語言表達方式。感謝您在忙碌的學業中能抽空填寫本問卷，您的協助對我的研究非常的重要。

這是一份純學術性的問卷，主題是想了解一下大家在日常生活中對某些特定的語言表達持有怎樣的印象。您填寫的答案沒有“對”與“錯”之分，所以請根據您真實的想法作答。

此外，本問卷僅供學術研究分析，絕不對外公開，並採用匿名方式填寫。

首先，請寫下您的年齡，性別，出生地，現在居住地及居住年數。

年齡：滿 _____ 歲 性別： 男 · 女

出生地： _____

現居住地： _____ 居住年數： _____

為了保持友好的師生關係，在下列場景中，您對這位 40 多歲的同性老師會採用什麼樣的語言表達方式。根據熟悉程度和利害關係，又具體分 A, B, C, D 四位老師：

A 老師：每週見 2、3 次面，經常輕鬆的進行交談，並且現在正在上該老師的課。

B 老師：每週見 2、3 次面，經常輕鬆進行交流的老師，過去曾上過該老師課。（現在不上）

C 老師：每週見 1 次面，不經常交談，現在正在上該老師的課。

D 老師：每週見 1 次面，不經常交談，過去曾經上過該老師的課（現在不上）。

對上述的 4 位老師，在以下 4 種場景中，您會怎樣表達自己的想法。請想像該場景並寫下您的真實想法。（如果是不能說或是不方便說的情況，請如實的寫下 [不能說] 或是 [不方便說]）。

場景 1. 想表達老師的課很棒。

| | |
|---------|--|
| 對 A 老師： | |
| 對 B 老師： | |
| 對 C 老師： | |
| 對 D 老師： | |

場景 2. 想表達老師拿的包包很適合他 / 她。

| | |
|---------|--|
| 對 A 老師： | |
| 對 B 老師： | |
| 對 C 老師： | |
| 對 D 老師： | |

場景 3. 想稱讚老師的新髮型。

| | |
|---------|--|
| 對 A 老師： | |
| 對 B 老師： | |
| 對 C 老師： | |
| 對 D 老師： | |

場景 4. 你 / 妳看到幾位外國人在向老師問路，老師的專業並非英語，但是用很流利的英語為他們做了說明。對此你 / 妳會對老師說什麼。

| | |
|---------|--|
| 對 A 老師： | |
| 對 B 老師： | |
| 對 C 老師： | |
| 對 D 老師： | |

感謝您的協助！